

「とくしま人口ビジョン(仮称)」骨子案

1 人口の現状分析

【本格的な人口減少局面が到来】

- ・1999年以降、16年連続で人口減少
- ・2007年には80万人を割り込み、現在は76万人台まで減少
- ・合計特殊出生率は1.43(2013年)で21年連続の「自然減」
- ・「社会減」も16年連続で継続中

【このまま推移すれば】

- ・2040年には57.1万人まで減少と推計
- ・地域の衰退や地域経済の縮小はもとより、社会保障制度の維持が困難になるなど深刻な懸念

2 人口の将来展望

①目指すべき将来の方向

○「とくしま回帰」の流れを加速する

➢「ひと」と「しごと」の流れを県下全域に呼び込むことが重要。例えば、過疎地域にありながら「社会増」も見られる上勝町、神山町、美波町や、若手林業従事者を呼び込む那賀町など、地域特性を活かした独自の取組を全県的に広げていく。

➢地方に遅れて超高齢社会を迎える大都市圏の処方箋を地方から発信することが「日本の創生」に繋がる。例えば、本県にゆかりのある高齢者の里帰りなど、「vs東京」の旗印のもと、都市と対になって、徳島から東京一極集中の是正を目指す。

○若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる

➢若い世代が希望を持ち安心して家庭を築くことができる社会に向け、ライフステージに応じた支援を強化する。例えば、本県の正規雇用率は全国トップクラスであり、若者の雇用拡大と生活の安定を通じて、結婚・子育ての希望実現を支える。

○多様な価値観が息づく活力ある地域を創造する

➢共通コンセプト「vs東京」が掲げる東京にはない徳島の価値や地域の強みに気付き、磨きをかけることが重要。例えば、全国屈指のブロードバンド環境は「とくしま回帰」の有効なツールであり、「桃源郷」とも称される県西部の観光資源や「主伐の時代」を迎える森林資源など、大きな潜在力を最大限に発揮する取組を加速する。

○人口減少社会に複眼的に対応する

➢人口減少に歯止めをかけるため早期に実効性ある施策を講じながら、地域の衰退や労働力不足など当面避けられない課題にきめ細やかに取り組み、持続可能な地域づくりを目指す。

②人口の将来展望

【国「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の目標設定】

◆2060年に1億人程度の人口を確保

- 出生率の上昇による(2030年:1.8→2040年:2.07)
- 長期的には総人口9000万人程度で安定的に推移

【徳島県における将来目標】

＜自然動態＞出生率の改善 ＜社会動態＞転出超過の解消

**人口減少のスピードに歯止めをかけ、
2060年に●●万人程度を確保する**（※今後、目標設定）

『「とくしま回帰」総合戦略(仮称)」骨子案 <2015~2019年度>

1 基本姿勢

「とくしま人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服と持続可能な地域づくりを実現するための今後5か年の目標と施策の方向性を示す

- ◆産官学労言の各界代表者に加え、地域や住民の代表から成る「地方創生“拳県一致”協議会」による推進体制
- ◆県議会における審議と幅広い県民意見の聴取
- ◆市町村との情報共有と相談支援体制の構築による連携強化
- ◆外部有識者の参画により、客観的な効果検証と改善を行う「PDCAサイクル」の確立

2 基本目標と基本的方向 ※具体的な「数値目標」は引き続き検討

「ひと」と「しごと」の好循環により、「とくしま回帰」を加速

【基本目標①】新しい人の流れづくり

「ひと」が回帰し、「しごと」が生まれる
「しごと」を回帰させ、「ひと」を呼び込む

【基本目標②】地域における仕事づくり

地域産業の競争力強化に向け、可能性を最大限に引き出し、安定した雇用を創出する

【基本目標③】結婚・出産・子育ての環境づくり

結婚や出産を望む若者が希望を実現し、子育ての喜びを実感できる環境を創造する

【基本目標④】活力ある暮らしやすい地域づくり

「ひと」と「しごと」の好循環により地域の活力を生み出し、暮らし、学び、働き、子育てしやすい「まち」を創生する

3 具体的な施策 <課題解決への処方箋>

※主なものを記載

1. 新しい人の流れづくり

■移住交流の推進

- 「住みたい」「働きたい」とくしま回帰モデルの発信
- 農林水産業にチャレンジできる魅力あるフィールドを全県的に展開

■企業・政府関係機関の誘致

- 企業の「成長発展の地・とくしま」への本社機能の回帰を促進
- 政府関係機関の「フィールドワークの拠点・とくしま」への回帰に挑戦

■県内高等教育機関の充実と若者の定着促進

- 県下全域に広がる大学の「地(知)の拠点」との連携を強化

2. 地域における仕事づくり

■グローバルに「稼ぐ力」の創出

- 世界を視野に！徳島の強みを活かした成長ビジネスの新展開
- 世界市場を見据えた6次産業化の徳島モデル創出

■「観光立国」の先陣を切る

- 「訪日外国人2000万人」の新たな流れを呼び込む
- 徳島ならではの魅力ある大規模集客イベントの拡大

■地域産業の飛躍を支える人づくり

- 次代を担う産業人材の育成・確保と技術の継承
- 実践的な「もうける」ICT人材の育成

3. 結婚・出産・子育ての環境づくり

■「少子化対策緊急強化基金」を活用した切れ目のない支援

- 結婚の希望を実現する「攻めの」婚活支援
- ゆとりある豊かな子育て家庭の実現
- 子育てを支える温かい地域社会の形成

■若い世代の正規雇用のさらなる拡大

■仕事と子育てが両立する働き方の実現

4. 活力ある暮らしやすい地域づくり

■「課題解決先進地域」の加速

- 課題解決先進市町村の支援
- 「地方創生特区」の積極的な活用
- 「知恵は地方にあり」を具現化する政策提言の実施

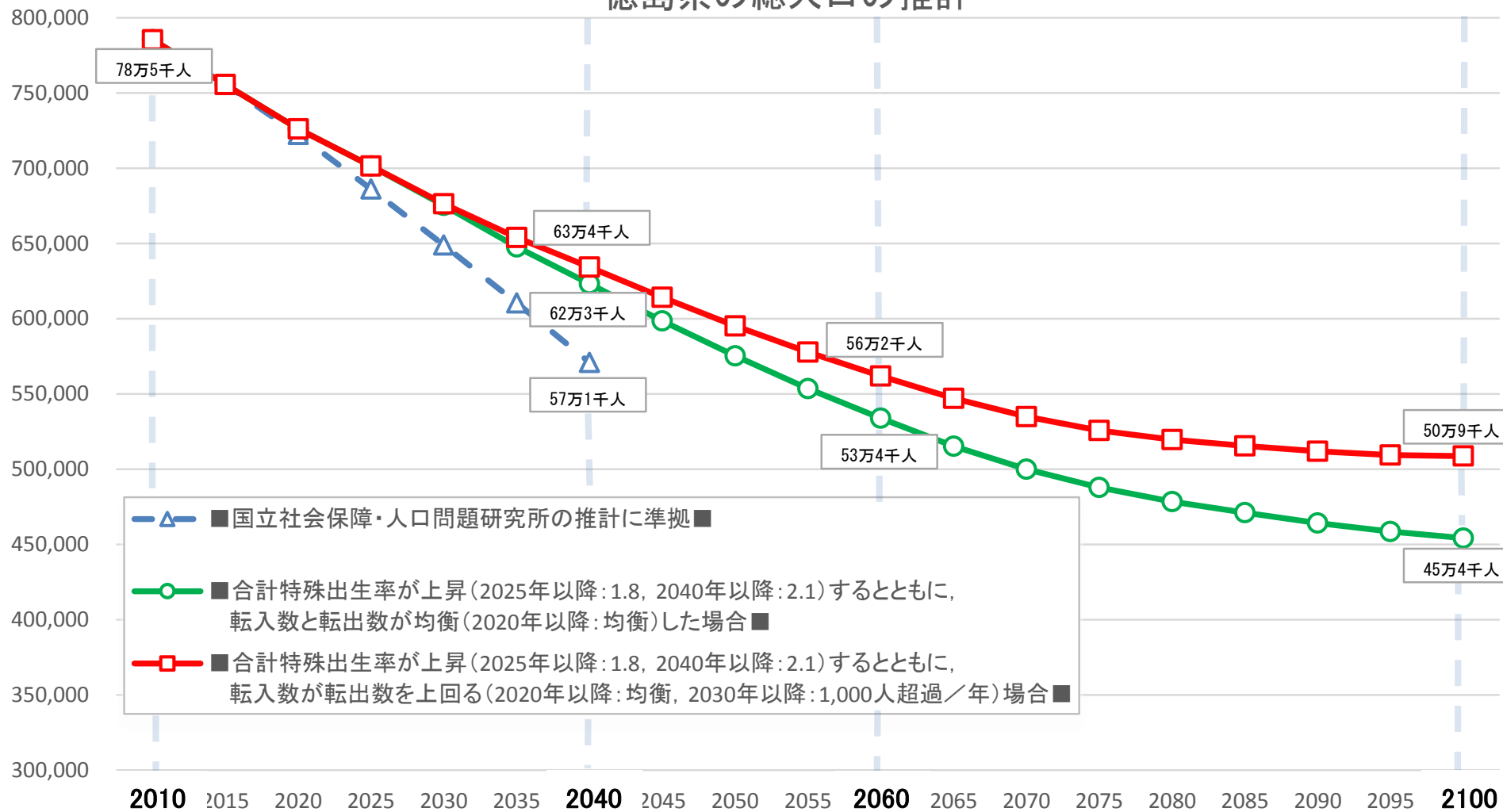
■多様な人材が輝く地域づくり

- 「女性の活躍元年」からのステップアップ
- 元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現
- 若者の自己実現へのチャレンジを応援

■地域間連携による取組の進化

「人口ビジョン」策定への基礎資料として将来人口をモデル的に推計したもの

徳島県の総人口の推計



1. 新しい人の流れづくり

■ 移住交流の推進

- 「住みたい」「働きたい」とくしま回帰モデルの発信
 - ・ 移住コンシェルジュの配置、移住お試し体験の実施など、U I J ターンや二地域居住の情報発信・受入体制を強化
 - ・ 全国をリードする「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」(半X半ICT)のさらなる推進
 - ・ 大都市圏のプロフェッショナル人材を呼び込み地元企業とのマッチングを推進
 - ・ 若い世代の回帰とともに、本県ゆかりの高齢者の「とくしま回帰」を推進
- 農林水産業にチャレンジできる魅力あるフィールドを全県的に展開
 - ・ 産学官の連携によるインターンシップの実施
 - ・ H28.4月創設予定の徳島大学「生物資源産業学部(仮称)」やアグリビジネススクールをキャリアアップの拠点として最大限に活用
 - ・ 新規就業支援による定住の促進

■ 企業・政府関係機関の誘致

- 企業の「成長発展の地・とくしま」への本社機能の回帰を促進
 - ・ 「一国二制度」となる税制改正と本県独自の企業立地優遇制度の拡充の両面から大都市圏の企業の本社機能誘致を強力に推進
- 政府関係機関の「フィールドワークの拠点・とくしま」への回帰に挑戦
 - ・ フィールドワークの拠点として本県の強みを活かし、研究機関や研修所などの政府関係機関の地方移転を誘致

■ 県内高等教育機関の充実と若者の定着促進

- 県下全域に広がる大学の「地(知)の拠点」との連携を強化
 - ・ 徳島大学新学部創設を契機とした課題解決のフィールドの拡大
 - ・ 県内外の高等教育機関のサテライトオフィス設置を通じた地方創生人材の育成

2. 地域における仕事づくり

■ グローカルに「稼ぐ力」の創出

- 世界を視野に！徳島の強みを活かした成長ビジネスの新展開
 - ・「2つの光」を活用した成長関連産業のさらなる集積を推進エンジンとした経済好循環の実現
 - ・スーパーハイビジョン（4K8K）を核とした新たな産業集積の推進
 - ・ロボット関連技術によるものづくり産業の高度化
 - ・地域イノベーションにつながる外資系企業による県内投資の促進
 - ・コールセンターをはじめとする情報通信関連産業の集積を推進
 - ・自然エネルギー立県として、再生可能エネルギーの導入や水素エネルギーの活用による新たな事業展開を加速
- 世界市場を見据えた6次産業化の徳島モデル創出
 - ・徳島大学「生物資源産業学部(仮称)」創設を起爆剤とした産学官連携の新展開
 - ・「とくしま特選ブランド」のプレミアム化による生産拡大
 - ・県立高校における6次産業化を担う人材の育成

■ 「観光立国」の先陣を切る

- 「訪日外国人2000万人」の新たな流れを呼び込む
 - ・東京五輪を見据えた官民挙げての「Wi-Fi環境」、「多言語標記」の整備
 - ・東京五輪を見据えた国際イベントの展開
 - ・大型外国クルーズ客船の寄港促進
 - ・世界に通用する観光ブランド「にし阿波」の創造
 - ・四国の右下「アウトドアスポーツの楽園」を世界に発信
 - ・航空路線の利便性向上・空港機能の強化
 - ・「世界遺産」登録への挑戦
- 徳島ならではの魅力ある大規模集客イベントの拡大
 - ・「とくしまマラソン」2万人大会の開催と「マチ★アソビ」参加者数のさらなる拡大
 - ・「阿波おどり」の通年活用による国内外からの誘客の促進

■ 地域産業の飛躍を支える人づくり

- 次代を担う産業人材の育成・確保と技術の継承
 - ・職業訓練によるものづくり人材の育成とスキルアップ
 - ・第1次産業における新規就業者の支援と建設産業の担い手育成
- 実践的な「もうける」ICT人材の育成
 - ・徳島の強みを活かしたICTワーキングスタイルの確立
 - ・企業・人材の交流等を通じて「新たな知のイノベーション」を生み出す

3. 結婚・出産・子育ての環境づくり

■ 「少子化対策緊急強化基金」を活用した切れ目のない支援

▶ 結婚の希望を実現する「攻めの」婚活支援

- ・ 県内企業・団体のネットワーク構築による出逢い・交流の場の創出
- ・ 地域での結婚支援活動コーディネーターの育成
- ・ 地域の実情に即した婚活事業を支援

▶ ゆとりある豊かな子育て家庭の実現

- ・ 多子世帯をはじめ子育て世帯の経済負担軽減を強化
- ・ 安心して子育てできる医療情報の提供
- ・ 配偶者間の特定不妊治療に要する経済的負担の軽減

▶ 子育てを支える温かい地域社会の形成

- ・ 全県下に広がる「ファミリー・サポート・センター」における病児・病後児保育の実施
- ・ 高齢者の参加による世代を超えた子育て支援の推進や、保育士・子育て支援員等の保育人材の確保
- ・ 「子ども・子育て支援新制度」への円滑な移行に向けた市町村の主体的な取組を支援

■ 若い世代の正規雇用のさらなる拡大

- ・ 県下全高校におけるインターンシップ（就業体験）の実施
- ・ 「ジョブカフェとくしま」等における適性な職業選択による就業支援
- ・ 全国トップクラスの正規雇用率の維持

■ 仕事と子育てが両立する働き方の実現

- ・ 企業におけるテレワーク導入の推進と県における先導的取組
- ・ 「はぐくみ支援企業」の認証や、「イクボス」の養成など子育てしやすい職場づくりを推進

4. 活力ある暮らしやすい地域づくり

■「課題解決先進地域」の加速

- 課題解決先進市町村の支援
 - ・地域の活力創出に向け、市町村や民間のモデル的な取組を発掘・支援
 - ・市町村のサテライトオフィス誘致を強力に支援
- 「地方創生特区」の積極的な活用
 - ・本県の強みを活かした規制緩和策を打ち出して特区指定を受ける
- 「知恵は地方にあり」を具現化する政策提言の実施
 - ・「日本創生」の実現に繋げる「課題解決先進県・徳島」からの処方箋を発信

■多様な人材が輝く地域づくり

- 「女性の活躍元年」からのステップアップ
 - ・女性活躍のさらなる機運醸成
 - ・女性の就業やスキルアップ、創業に対する伴走型支援の強化
- 元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現
 - ・意欲や能力のある高齢者の就労促進
 - ・地域貢献活動の担い手育成と活躍の場の創出
- 若者の自己実現へのチャレンジを応援
 - ・課題解決型人材の育成と起業支援
 - ・「Tokushima英語村」プロジェクトでのグローバル人材育成と交流促進
 - ・地域活性化に向けた高校生と地域の連携推進
 - ・人口減少社会に対応した新しい小中一貫教育の徳島モデルを発信

■地域間連携による取組の進化

- 関西広域連合（全国初の府県域を越える意思決定機関）
 - ・地方創生に向けた徳島発の広域プロジェクトの推進
 - ・「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催等を通じた徳島の魅力発信
- 四国知事会・近畿ブロック知事会・中四国サミット
 - ・「地方創生の旗手」として、地方創生に向けた課題の検討と施策提言の実施へ各ブロック知事会を先導